

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成 26年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市淀川区野中南2丁目11番48号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本ビラー工業(株) 福知山事業所 届出者 代表取締役社長 岩波 清久 代理人 執行役員福知山事業所長 後藤 幸生
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001	
適 用 範 囲	日本ビラー工業(株)福知山事業所 その他工場1箇所	
導 入 年 月 日	2002年 9月 3日	
認 証 番 号	1425-1999-AE-KOB-RVA	
基 本 方 針	環境理念に基づく新しい製品を提供するために、研究開発を進めています。その他事業活動と環境との調和を図るため、環境マネジメントシステムを確立し、環境負荷を減らすための継続的な改善と汚染の予防を図ります。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	2013年度の具体的な目標の一部 ①エネルギーの使用量の削減 2011年度と比較し、2013年度までに出荷高原単位で5%削減 ②有害物質の使用削減 塩化メチレンを2014年度全廃、2013年度はパイロット設備導入 ③廃棄物の削減 2011年度と比較し、2013年度までに出荷高原単位5%削減	
目標を達成するための取組の内容	①エネルギーの削減 ・空調室内温度の適正化・大型電気炉の更新 ・クリーンルームエア装置の定期的な点検清掃の実施 ②有害物質の使用削減 ・代替パイロット設備導入テスト実施 ③廃棄物の削減 ・各部署不良低減活動実施	
目標を達成するための取組の進捗状況	ほぼ計画通りに進捗している	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①エネルギーの削減 目標を達成。出荷高が大幅に増加した要因も大きい ②有害物質の使用削減 パイロット設備を導入しテスト確認完了 ③廃棄物の削減 各部署努力をしたが、やや目標に届かなかった	
事業活動に係る法令の遵守の状況	法規制順守状況表を毎年6月に確認実施。 順守状況について違反、行政当局からの指摘等は無かった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年に1回見直し。 前年度の活動評価を確認し、実行内容・目標値を設定	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。